

令和6年8月27日 教育委員会会議録

- 1 日 時 令和6年8月27日（火） 午後3時～午後3時50分
- 2 場 所 10階 委員会開催室
- 3 出席委員 金沢智也教育長、田中克委員、中村篤委員、細谷真紀子委員、伊藤洋子委員
- 4 出席者 高橋一実教育部長、西村尚人教育企画課長、花輪信二参事（兼）教育総務課長、横山尚久次長（兼）学校教育課長、佐藤哲也次長（兼）社会教育青少年課長、和田裕樹少年自然の家所長、阿部宏図書館長、長橋真学校給食センター所長（兼）栄養管理室長、志済直史商業高等学校事務長、馬場賢総合学習センター所長、事務局（教育企画課及び教育総務課職員）

会議次第

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 議 事
議案第26号 市議会の議決を経るべき議案に係る市長への意見の申出について
（令和6年度教育費9月補正予算について）
- 4 報 告 事 項
(1) 令和6年度全国学力・学習状況調査結果の概要について
- 5 そ の 他
- 6 日 程 等
(1) 教育委員会の日程について
(2) 教育委員会主催（共催）の行事予定について
- 7 閉 会

会議録

1 開 会 教育長

2 会議録署名委員の指名

教育長…本日の会議録の署名委員は、田中委員にお願いしたい。

＜各委員より了承の声＞

3 議 事

教育長…本日の議事に入る前に「会議を公開しないこと」について、お諮りする。本日の議案第26号「市議会の議決を経るべき議案に係る市長への意見の申出について（令和6年度教育費9月補正予算）」は、山形市教育委員会会議規則第7条第1項第5号（市長又は議会に対する意見の申出及び市長その他の関係機関との協議等を必要とする事項）に該当することから「会議を公開しない」こととして審議してよろしいか。

（全委員、異議なし。）

教育長…それでは、議案第26号については「会議を公開しない」こととして審議し、その会議録等についても非公開とする。

＜以下、非公開＞

＜非公開解除 以下公開＞

4 報告事項

教育長…それでは報告事項に移る。「(1)令和6年度全国学力・学習状況調査結果の概要について」の説明をお願いする。

＜学習センター所長より説明＞

教育長…ただ今の説明について、意見や質問等はあるか。

田中委員…ICTの利用は市と県どちらも全国よりも低い状況が続いており、感覚としては「山形は全国より1年遅れて徐々に普及している」というイメージがあるが、市として去年と変わらないのであれば改善に向けて指導・助言が必要になってくる。昨年と比べてICTの利用は上昇しているか。

学習センター所長…学習状況調査に関する調査結果より昨年度「週3回以上使っている」と回答した割合が小学校は若干下がり、中学校では上がって

いる。小、中全体の平均は上がっている。

田中委員… 小学校は下がっていることについて現場の先生方は有効性を感じられていないのか。

学習センター所長… ほぼ横ばいである。扱う先生や学年によって差が出ている。

田中委員… 算数の平均正答率が全国と比べ下がっている。児童の基本的な計算能力が要因でないか。また、意見として主体的な学習とか協働的な学びが全国的に大事にされているが、それがあるがために学びを勘違いしている先生はいないのか。例えば、できるという自信を持たせて初めて主体的になり、自分の考えもないのに協働的な学びは成立しないと思う。しかし、先生方がその言葉に踊らされ、まずあなた方の課題を見つけてくださいなど、どこに目をつけたらいいか分からないのに関わらず課題を見つけるように言ったり、自分の考えがないのにも関わらず協働的な学びを行っているのではないかととても危惧しているところである。

学習センター所長… 知識や技能の定着として計算が出来ていないといった課題が今回も上がっている。これからも補っていかねばいけない。教科の本質に向けて子どもたちが学べるような授業改善を学校に指導していく。

細谷委員… 三点質問がある。一点目は学校質問調査の中に前年度という言葉が入っている。前年度の学年の様子はどのような形で答えているか。二点目は、児童生徒がＩＣＴ機器を使用したと回答した割合と先生が使用したと回答した割合に乖離がある。学校の先生方によって使用の感覚が違うのではないか。三点目は、先生方が基礎学力を教えるのは丁寧だが、家庭学習にも期待しているところはあるか。

学習センター所長… 一点目として、学校の中の学校質問調査は特定の教員が回答する。例えば、教頭先生が学校代表、主幹教諭等が教員代表として回答している。二点目は児童生徒自身が使っていないと感じている中、教員は使っていると感じているのでそこで乖離がある。また、一点目と同様に回答した教員の扱い方の違いもある。三点目は、家庭学習については基本的に学校で時間を取り知識や技能の定着を大事にしていかなければならない。各家庭によって様々な状況があるので、まず学校で時間を取る。家庭との連携を高めていく循環が生まれるようにＩＣＴ機器を有効に使いながら家庭学習での活用の仕方など学校によっては差があるため、その差を埋めるような努力をしたい。

細谷委員… ＩＣＴ機器を使っていると思われる先生方はＩＣＴ機器を利用し写真を撮ることも含めているのではないか。通信に使っているわけではないので先生と生徒で乖離が生じているのではないかと思う。

伊藤委員… 小学校の国語の分野にある話すことの点数が良くない。どこでつまづいているのか。

学習センター所長… 問題文の中に会話文を読み進めて、誰がどういう意図で話していますかなどに回答する形を取っている。届いたメールの内容と話すことをメモした内容があり、大きい連続のツールリストが三つ用意されていて、そこから必要な事項を目的に合わせて選び出す。選択式の問題にもかかわらず、非連続テキストから必要な部分を読み取るということが難しく、課題として認識している。

伊藤委員… 目的、活動や自分たちの考えを明確にして表現方法を工夫する活動を大事にしていくとの事で合っているか。

学習センター所長… 意図を汲んで選んでいるか、選んだことをどう説明するか。明確にすることや表現方法を工夫することも大きな課題である。

伊藤委員… 二点ある。一点目は、分析、収集する力が少し弱いと見受けられる。山形の子は奥ゆかしさがある。そのためか自分の考えを表現できていない。取り組みはICTの活用だけでなく実際に話すような取組も必要なのではないか。聞き出したり、チャットGPTなどに頼るのではなく、先生や生徒同士の会話を大事にする。二点目は、アクションプランを立てて「〇〇%目標」を立てるのは可能なのか。

学習センター所長… ICTの活用と同じく、面と向かってやり取りすることも重要である。アクションプランとして数値目標を立てることは、各学校でどこに重きを置くかで異なるため難しい。これからどんな力をつけていきたいかなど話し、改善に向けて具体的な目標をつくっていききたい。

中村委員… 小学校は算数が苦手だが、中学生はかなり上がっている。つまづくところを重点的に指導するよう徹底的に苦手な子に教えてほしい。アンケートの「学校に行くのが楽しい」と回答するのが全国平均よりはるかに下回っていることが気になる。

学習センター所長… アンケートの「学校に行くのが楽しい」の回答率は気になる点である。例えば、授業が楽しいことやできるようになって嬉しいなどといった部分が学校に行くのが楽しいと思うことにつながっていくと思う。注視し取り組んでいく。

教育長… 県と市町村との会議の中で全国学力学習状況調査において久々に算数がマイナスになり、県教育委員会として危機感を持っていると話があった。教職員の構成は小学校を中心に若い人が増えている状況もあって、マイナスになってから対応策を考えるのではなく、普段の意識が大切である。分析結果だけだと具体

的になにをすればいいのか見えてこないで、具体的な取り組みを示すことも大切である。今のうちから対策を行わないと、下がってから考えるのでは下がる一方になってしまいそうである。

教育長…他に意見や質問等はあるか。

＜各委員より「なし」の声＞

5 その他

教育長…委員よりその他意見や質問等はないか。

＜各委員より「なし」の声＞

教育長…事務局よりその他報告等はないか。

＜事務局より「なし」の声＞

6 日程等

＜教育総務課長より教育長及び教育委員の日程及び教育委員会主催（共催）の行事予定について説明＞

7 閉会 教育長